

事業番号	16 01 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通安全対策の推進事業	部局	警察本部	課・室	交通部	
		実施期間	S29 ~	E-mail	police-keimu @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

令和4年中の県内の交通事故発生件数は4,752件で平成17年から18年連続で減少、死者数は46人で統計をとり始めた昭和23年以降最少となった前年を1人上回った。死者数全体に占める高齢者の割合は約6割を占めるほか、高齢運転者による重大事故が頻発している実態などを踏まえ、高齢者の交通事故防止対策を最重点として各種交通安全対策を推進していく必要がある。

2 事業目的

交通事故の減少や交通の円滑化を図り、日本一安全・安心な信州を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

①交通安全意識の醸成

- 交通安全教育（チャレンジ号等）の実施
- 高齢運転者に対するドライブレコーダーを活用した教育
- 横断歩道ルール・マナーアップの推進



参加・体験・実践型交通安全教育（チャレンジ号）

②道路交通秩序の維持

- 事故多発路線等における白バイ・パトカーによる街頭活動
- 交通事故に直結するおそれのある違反に重点を置いた交通指導取締り
- 交通事故事件捜査の高度化



交通指導取締り

交通安全施設整備

③安全で円滑な交通環境の整備

- 交通事故防止と交通の円滑化に資する交通安全施設の整備

④運転免許証作成システム改修事業

- 運転免許証作成システムの改修

⑤交通安全施設整備事業

- 小中学校の周辺道路や幹線道路の道路標示の補修を早期に実施するため、令和7年度に実施予定の事業費の一部について債務負担行為を設定

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	交通安全教育実施回数	回	190	206	↗	205	↘	180	達成	過去5年の平均実施回数を上回る180回を目標とする。
②~⑤	指標なし									

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
1-6①	県民生活の安全確保	☆交通事故死者数	人	2022 (R4)	46	2023 (R5)	42	2024 (R6)	57	2025 (R7)	45

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	2,946,081	△ 79,922	2,866,159	1,126,335	2,831,877	—
R5年度	203,842	2,800,657	△ 145,774	2,858,725	705,172	2,799,793	—
R4年度	21,562	2,966,287	△ 184,746	2,803,103	869,818	2,588,375	—

事業番号	16 01 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通安全対策の推進事業		部局	警察本部	課・室	交通部

7 主な取組実績と成果

①交通安全意識の醸成

交通安全教育車（チャレンジ号）による交通安全教育を県下205か所において実施し、4,638人が体験したほか、横断歩道ルール・マナーアップ対策は、年間を通して取り組む施策に位置付け「横断歩道ルール・マナーアッププロジェクト」として各種啓発活動を実施したことで、J A Fの調査では信号機のない横断歩道における一時停止率は、9年連続全国1位という結果であった。



②道路交通秩序の維持

通学路を中心に可搬式速度測定装置を使用した交通事故の抑止と、飲酒運転をはじめとした悪質・危険な運転者を検挙するとともに、自転車運転者のスマートフォンを使用しながらの運転、いわゆる「運転中のながらスマホ」や飲酒運転を取り締まることにより、交通事故の抑止を図った。

③安全で円滑な交通環境の整備

交通事故防止と交通の円滑化を図るため、交通信号機の新設6か所をはじめ老朽化した信号機の制御機の更新（160基）や視認性の向上と省エネ効果をもたらす信号灯器のLED化（約3,600灯）を実施するなど交通事故の抑止を図った。

④運転免許証作成システム改修事業

マイナンバーカードと運転免許証の一体化に向けた運転免許証作成システムの改修を行い、令和7年3月からマイナンバーカードと運転免許証の一体化の運用を開始した。

⑤交通安全施設整備事業

新学期に向けて、摩耗した横断歩道標示や除雪作業等により摩耗した中央線（黄色）等の補修工事計画を策定した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	交通安全教育実施回数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	達成
交通安全教育車（チャレンジ号）を利用し、県内30市町村にて、平日に限らず週末においても各地のイベント会場等に出動し、交通安全教育を実施した結果、目標値の180回を大きく上回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

令和6年中の交通事故発生件数は、前年に比べ36件減少したものの、交通事故死者数は15人増加したほか、高齢死者数は7人増加し、死者数全体に占める高齢死者数の割合は約6割を占めるなど、引き続き高齢者の交通事故防止が課題である。

(2) 事業改善の方策

令和6年中の交通事故死者数及び負傷者数は、前年に比べて増加しており、今後も増加が懸念されることから、高齢者の交通事故防止を最重点とし、チャレンジ号やA Iドライブレコーダーを活用した「参加・体験・実践型の交通安全教育」を推進するとともに、次世代を担う子供の安全を確保するため、交通事故に直結する悪質・危険違反取締りのための装備資機材及び交通事故のない安全で快適な交通環境整備のための信号機等交通安全設備の充実を図る。

事業番号	16 01 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	交通安全対策の推進事業		部局	警察本部	課・室	交通部

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	交通関係講習経費		824,017 千円	233,001 千円	285,511 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通関係講習経費	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> 講習用教材、講習用機器の整備等 受講通知、受講者管理業務 運転シミュレータ、各種講習用機器のリース料 安全運転管理者講習、行政処分者講習、違反者講習等各種講習に要する委託料 		
			安全運転管理者講習：年間68回、11,898人を対象に実施		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	交通安全教育推進事業		16,572 千円	16,768 千円	17,152 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通安全教育推進事業	直接 委託 負担金	<ul style="list-style-type: none"> 季別交通安全運動活動への支援、交通安全教育知識向上のための講習会の実施 高齢者を中心とした運転適性診断の実施、ドライブレコーダーのサポート機能を活用した交通安全教育、チャレンジ号等による交通安全教育の実施 交通事故ゼロチャレンジ事業への負担金 		
			<ul style="list-style-type: none"> チャレンジ号による交通安全教育：延べ205回、延べ4,638人が受講 A Iドライブレコーダーによる交通安全教育：450人を対象に実施 		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	交通指導取締経費		159,855 千円	153,724 千円	245,950 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通指導取締経費	直接 負担金 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導取締りに要する経費、交通指導取締機器の整備、修繕等に要する経費 日本道路交通情報センター、子供自転車大会等の負担金 長野県交通安全協会の交通安全対策事業に対する補助金 		
			飲酒運転検挙件数353件（R6年中）		
2	交通事故捜査経費	直接	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故捜査用資機材等の整備、交通事故記録装置点検料等 交通基本情報管理システムの維持管理費 		
			ひき逃げ事件検挙率68.3%、危険運転致死傷罪の検挙11件（R6年中）		

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	交通安全施設整備事業	1,360,402 千円	2,163,026 千円	2,005,243 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通安全施設整備	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・交通信号機の新設、改良（LED・歩車分離等）、更新整備 ・道路標識・標示の整備等 交通信号機新設6か所、信号灯器のLED化約3,600灯、制御機更新160基	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	駐車対策推進事業	227,529 千円	233,274 千円	233,383 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	駐車対策推進事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・道路使用許可申請された工事等について、条件の履行、原状回復等の調査委託 ・自動車保管場所現地調査、標章交付業務の委託 ・駐車監視員による放置車両確認事務委託 ・放置違反金収納に要する経費 駐車監視員による放置車両確認標章貼付件数650件	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	運転免許証作成システム改修事業	- 千円	- 千円	44,638 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	運転免許証作成システム改修	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードと運転免許証の一体化に向けた運転免許証システムの改修 令和7年3月24日からマイナンバーカードと運転免許証の一体化の運用を開始	